

日本製紙グループ バリューチェーンにおけるSDGsへの影響

日本製紙グループは、「世界の人々の豊かな暮らしと文化の発展に貢献する」という理念に基づき、バリューチェーンのそれぞれの段階で、SDGs※の目標に与える正の影響を強化し、負の影響を低減するように努めています。

※ 持続可能な開発目標：2015年に国連で採択され、2030年に向けた地球規模の優先課題や世界のあるべき姿を示した17の目標。

バリューチェーンにおけるSDGsに対する正と負の影響



経済・環境・社会への
正の影響の強化



目標 15 陸地の保全

自社林の適切な管理によって、森林の公益的機能と生態系サービスの持続的利用を可能にします。

目標 2 7 9 12 14 環境と社会に配慮した製品の提供

再生可能なバイオマス資源をさらに活用する技術革新を通じて、環境の保全と資源の持続性向上に貢献します。



目標 13 気候変動対策

合法的かつ適切な調達を徹底することで森林の減少を抑制します。また、あらゆる事業活動においてCO₂排出抑制に努めます。

目標 6 12 14 水と衛生、陸地の保全

水質・大気・土壌への負荷物質の排出を抑制することで、自社の生産活動にともなう環境汚染を防ぎます。

目標 3 健康的な生活

働く人々の病気・けがを防ぐため、職場の安全施策や教育・啓発に万全を期しています。



経済・環境・社会への
負の影響の低減

